

立命館経済学 第二十九卷総目次(昭和五五年度)

論 説

労働制度と労働者の権利……………	三好正巳	号	頁
——「経済的民主主義」をめぐる——		一……	一(一)——三(三)
南北戦争後のプランテーション……………	藤岡惇	一……	三(三)——六(六)
——経済をめぐる最近の研究動向……………	杉野 明	二……	一(一九)——五(二七)
国家独占資本主義論と資本蓄積……………		二……	三(三)——六(六)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と	川本和良	二……	五(一七)——九(一九)
——社会政策および中間層政策の展開(四)……………	北野正一	二……	八(一九)——一四(二五)
雇用増と実質賃金率増との同時達成策について(一)……………	山田 彌	三……	一(二七)——三(三三)
政策科学と計量経済モデル(一)……………	角田修一	三……	三(三三)——六(三九)
——生活手段の経済学的規定の意義によせて——		三……	三(三三)——六(三九)
雇用増と実質賃金率増との同時達成策について(二)……………	北野正一	三……	三(三三)——六(三九)
——生活手段の経済学的規定の意義によせて——		三……	三(三三)——六(三九)
レンドバージ……………	塩田庄兵衛	四……	三(四五)——二(四一)
日本資本主義の「八〇年代論」……………	高内俊一	四……	三(四五)——五(五一)
地租改正と私的所有権の性格について……………	後藤 靖	四……	五(五一)——八(五七)
最適通貨圏論考……………	清水貞俊	四……	八(五七)——一〇(六三)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と	川本和良	四……	一〇(六三)——一三(六九)
——社会政策および中間層政策の展開(五)……………		四……	一〇(六三)——一三(六九)

国際的分業について……………	岩田勝雄	四二二(五九五)——二五(六五)
地主的土地清掃と南部民衆運動の交錯……………	藤岡惇	四二二(六六)——一八(六四)
日本銀行金買入法小論……………	伊藤正直	四二二(六五)——二〇(六七)
実質消費支出の統計的性質について……………	関三郎	五二二(六九)——三(七八)
貧困化論のための覚え書……………	三好正巳	五二二(七九)——五(七五)
転換期の住宅問題……………	奥地正	五二二(七六)——八四(七八)
市民所得統計を中心とした都市圏産業連関表の 推計と若干の応用分析……………	鈴木登	五二二(七八)——三(八七)
中国における「資本主義」復活理論……………	小野進	五二二(八八)——一五(八四)
中京工業地帯と工業用地問題(上)……………	杉野圀明	五二二(八〇)——一八(八七)
政府の景気安定化政策について……………	北野正一	五二二(八〇)——三九(九五)
スタグフレーション理論および政策に関する一展望……………	河野快晴	五二二(九六)——二九(九五)
戦後アメリカ巨大企業の組織変革……………	坂本和一	六二二(一〇五)——七四(〇八)
——マトリックス組織の形成とその意義——		
「社会的共同業務」と国家(上)……………	上野俊樹	六二二(〇八九)——一三(二三)
——国家の階級性と公共性の理解の前進のために——		
研 究		
財政危機下における資金運用部資金の 財政投融资計画外運用について……………	梅原英治	一三三(六二)——五(九五)
国債管理政策の二つの形態……………	浅田和史	二二二(二五九)——一六(二八)
現代産業と産業組織分析の方法……………	山本幹夫	三三三(三七)——一三(四〇)
——産業組織の再編と市場成果規準——		

工場制下の労働と家族……………湯浅良雄 三二(四〇七)——一六(四〇)

——イギリス一八三三年工場法と家族——
『金融資本論』における株式会社、独占と金融資本(上)……………佐々木秀太 六二(三三)——一五〇(二六四)

一九世紀中葉イギリスの労働者生活と生命保険(上)……………横山寿一 六二(三五)——一七七(一九)

研究ノート
社会主義社会の歴史的位位置と発展段階
区分についての覚え書……………小野一郎 一〇六(九六)——一〇九(一〇九)

書評

小野一郎著『現代社会主義経済論』……………宮鍋 轍 一〇(一〇)——一七(一七)

向井俊彦著『唯物論とヘーゲル研究』……………鱈坂 真 三二(一五)——一七(四六)

足立政男教授退任記念号

足立教授の学問について……………後藤 靖 四二(二一)——二六(六七)

立命館在職三十二年の回顧……………足立 政男 四二(二七)——三六(六八)

略歴・著作目録…………………………四二(三七)——三四(六九)

後藤文治教授退任記念号

後藤さん「定年」と伺って……………建林 正喜 五二(三〇)——三〇(一〇〇)

経済学と私…………………………後藤 文治 五二(三五)——三三(一〇九)

略歴・著作目録…………………………五二(三四)——三八(一〇四)

共同研究室

昭和五五年度第一回研究会「生活手段の

立命館経済学(第二十九卷・第六号)

一八五(一一九九)

資本主義的形態とその廃棄	角田修一	二……一六五(二六三)——一六五(二六三)
昭和五五年度第二回研究会「地域産業連関計量モデルによる地域分散政策の効果測定」	鈴木登	二……一六五(二六三)——一六七(二六五)
昭和五五年度第三回研究会		
「一九二〇年代の日本金融構造」	伊藤正直	二……一六七(二六五)——一六八(二六六)
昭和五五年度第四回研究会「雇用増と実質賃金率増との同時達成策について」	北野正一	二……一六八(二六六)——一六八(二六六)
昭和五五年度第五回研究会「イギリス一八三三年工場法と児童労働問題」	湯浅良雄	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
「ビクトリア中期の労働者生活と生命保険」	横山寿一	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第六回研究会「転換期の住宅問題」	奥地正	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第七回研究会「現代アメリカ巨大企業とその研究状況」	坂本和一	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第八回研究会		
「スタグフレーションの理論的構造」	松川周二	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第九回研究会		
「一つの自然史としての社会経済史」	梯明秀	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第十回研究会「戒能通厚著『イギリス土地所有法研究』」	栗原真人	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第十一回研究会		
「イギリス経済の危機と鉄鋼国有化」	家長隆	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)
昭和五五年度第十二回研究会		
「貨幣の前貸しと資本の前貸し」	浅田和史	六……一七二(二九三)——一七二(二九三)

「日本財政の危機と「財政再建」政策」	梅原英治	一七九(二五三)——一七九(二五三)
本年度会員業績		一七九(二五三)——一八三(二五六)